

あさお市民活動
レポート

発行元 認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター

あさお Asao friends ふれんず

12
2024

あさお多文化 サポートネットひまわり

3
面



過年度の「お楽しみ会」の様子

麻生区内の小・中学校で、日本語の苦手な外国につながる子どもたちの学習を支援するボランティアグループ。



市民 サークル 紹介

12
月号

詳しい情報は
中面・裏面で！

麻生区で活動する市民サークルを紹介しています。気になるサークルには、ぜひお問い合わせを！



押し花クラブ花音

2
面



木々の緑と滝と流れのある風景（大作）

押し花で自然を表現する。上の風景押し花は写真を参考に、木々はシダや苔・小枝や木の皮、水は和紙、滝や流れは綿で表現。

オカリナ愛好会麻生

4
面



汽車ポッポを練習中

どんな曲でもおまかせを！オカリナで合奏します。結成18年のオカリナ同好会。新規会員募集中！

ギターひよこ

3
面



「やまゆり楽芸会」で

10月20日の「楽芸会」では、「バラが咲いた」「青葉城恋唄」「ふれあい」「あの素晴らしい愛をもう一度」をギター弾き語りで披露した。

麻生短歌会

2
面



歌を詠み鑑賞する例会は成長の場となる

例会では、司会の進行で投稿された短歌を皆で鑑賞し、批評し合い、最後に講師が手直しする点を指摘する。成長を実感し楽しむ場でもある。



毎年たくさんのシニアが地域デビューしています

地域社会で活発に活動をしている人を講師として迎え、自分は何ができるのかを考え、仲間づくりに役立つヒントを用意します。毎年、講座参加者で新しい団体ができています。積極的な参加をお待ちしています。

申し込み方法や詳細は、やまゆりHPをご覧ください。



受講生募集

第16回
目指せ！
アクティブシニア

講座
受講料無料

麻生区は長寿日本一
これからの自分の時間を
どう使いますか？

麻生市民交流館やまゆりでは仕事や子育てにひとくぎりついた方、定年前に今後の活動を検討したい方に地域社会へのデビューを果たすお手伝いとして毎年「目指せ！アクティブシニア講座」を開催しています。

2025年1月11日(土)から毎週土曜10時～12時全5回の連続講座で定員は25人、受講料は無料、申し込み受付は12月1日(日)～20日(金)まで。



一見、生きているような押し花に驚く

押し花クラブ花音

麻生市民館のギャラリーで作品に
出会ったとき、額の中の植物が生き
ているように見え、そのデザインの見
事さにも驚かされて取材した。どう
すればこんなに美しく鮮やかに植物
が押しあがるのか、その秘密を聞く
と「きれいな押し花を作るためには、
できるだけ早く植物から水分を取り
除くことです」とのこと。それぞれの
植物にあった処理をして、吸湿性の
よい乾燥シートにはさみ重しを乗せ
る。それだけだという。

バラや牡丹、菊のように幾重にも
花びらが重なった植物は、花びらを
取りはずし1枚ずつ押してから組み
立てたり、野菜や果物も押せるとの
こと。なかなか奥深い。講師の細やか
な指導で基礎技術を身に付ければ、
押し花の世界を十分に楽しめること
であろう。

花屋さんの花や道端の草花を見た



芍薬(シャクヤク)/花びらを1枚ずつ
取りはずし、押してから組立て、リボン
などを使いデザイン)



押し花で、好みの作品を作る

り植物を
育てたり
する楽し
み、さま
ざまな植
物を美し
い押し花
にする達
成感や満
足感、そ
してそれ
ぞれを小物や額などの作品にする感
動。なによりも花を囲んでの出会い
や人の輪がここにある。
道端に咲く草花で四季の変化を感じ
て、日々の散歩も楽しくなること
と。一度訪ねてほしい。
取材・文 区民記者 中島久幸

おぼな かおん 押し花クラブ花音

講師：林田 啓子
連絡先：chihana416@gmail.com (林田)
設立：2022年8月
会員数：6名(男性：1名、女性：5名)
入会金：なし
会費：2200円/1回(2時間)
活動日：1回/月(不定期)
場所：麻生市民館
講師その他の活動：
第2金曜、第3水、土曜10時から12時、第4
日曜10時から15時(2時間適時参加)、イオ
ンスタイル新百合5階パンドラハウス

雅な短歌の世界を楽しみませんか

麻生短歌会

麻生市民館ができたときに、区役
所と共同で文化事業として設立して
早や40年近くが過ぎた。この会では
毎月1首を投稿。皆が集まって鑑賞
し相互に批評し合い講師の先生が指
導する、その様子を取材した。詠み手
が言葉の意味や詠んだ気持ちの説明
するが、言葉を変えたり並べ方を入
れ変えたりすると、見る見るよくなっ
ていくのには感動した。

普段は題材が自由な自由詠(じゆうえい)で詠
むが、ときにはあらかじめ決められ
た題によって詠む題詠(だいえい)に挑む。短歌
の基本は五七五七七の五句体、三十
一音。詠み手は、普段見聞きしたこと、
感じたこと、昔の思い出などを気の
向くままに詠む。講師によると、「心
と言葉が一致した作品を目指す」の
が短歌の理念とのこと。

古い人をゆっくり降ろしコンビニの
奥まで付き添う老運転手

肩幅のあへば袖丈ながながし
あ、わが体軀は昭和のサイズ

湯を出る合図には咳三つ
桶は黄色にケロリンの文字

取材当日に鑑賞した21句の中で講師が褒めた3句



充実した例会を終えてリラックス(前列右から4人
目が講師の梅内さん)

優れた歌は
所属の短歌結
社誌や新聞に
投稿する。ま
た、年1回は
吟行会を催し
散策して1、
2句を作る。
12月には忘年
会を開き、持
ち寄った歌に
投票して、順位を決めて表彰する。
今は短歌が流行し、小・中・高校生
も詠むとのこと。初心者大歓迎。一度
覗いてみて欲しい。

取材・文 区民記者 中島久幸

あさおたなかかい 麻生短歌会

代表：梅内 美華子(うめない・みかこ)
連絡先：塩野 頼秀(しおの・よりひで) (080-6638-6939)
佐怒賀 弘子(さぬか・ひろこ) (080-1166-1757)
設立：1986年4月
会員：25名(男性：9名、女性：16名)
入会金：1000円
会費：1500円/月
活動日：第4火曜日13時から16時
場所：麻生市民館会議室

「ああ、楽しかった」を目標に



「やまゆり楽芸会」で練習の成果を披露

ギターを弾きながら好きな曲を歌い、年に2度のイベント（春の「サークル祭」、秋の「楽芸会」）に向けて練習の成果を披露する「ギターひよこ」。麻生市民館で、2017年10月から3か月間行われた「ギター弾き語り入門講座」受講者のうち十数名の有志により結成された集まり。

月に2回、練習の場を設けており、「一つは自主練習、もう一つは先生（講師）からの講習を受けます。未経験者は別メニューで練習し、後に合流というかたちで行っています」と、代表を務める小野圭一さんは語る。

ギターの種類は、アコースティックとクラシック。曲のジャンルは、フォークソング、歌謡曲が多い。先生の講習は、メンバーが好きな曲を選び、先生がメンバーのレベルに合わせて編曲し、ギター伴奏とメロディ、歌のハーモニーをアンサンブル練習する。

会のメンバーの年齢層は60代から70代が最も多い。新しいメンバーは、「ギター弾き語り入門講座」が、初回以降、2回目、3回目と開かれており、その都度、何名かが入会している。メンバーのみなさん、中には昔バン

ギターひよこ

ドを組んでいたという方もいるが、「入門講座」からという方が多く、「子育てが終わったから」、「定年になったから」、「昔を懐かしんで」とかで、「ギターを引っ張り出してきた」という具合。大変なことは？と聞くと「天気。移動時、雨が降るとギターが濡れてしまうこと」と、意外な答えが。「イベントを終えた達成感として、『ああ、楽しかった』を目標に頑張っています」と、小野さんは言う。



麻生市民館での練習風景(写真:トリミング合成/写真奥、左から4番目の人が先生)

取材・文 区民記者 神澤秀夫

ギターひよこ

代表: 小野圭一
連絡先: 044-951-3097
keiichi-ono@jcom.home.ne.jp
設立: 2018年2月
会員: 現在12名(男性5名、女性7名)
年齢層40~80代
*MAX 20名まで募集中
会費: 5000円/3か月
活動日: 火曜日(月2回)
場所: 麻生市民館視聴覚室、柿生分庁舎

心をつなぐ学習支援



活動について語ってくれた、左から副代表の吉田さん、代表の瀬川さん、副代表の山崎さん

課程在籍か日本語教育専攻（副専攻者のいずれかに該当すること。厳しい条件にも関わらず、年に3〜4人程度の申し込みがある。

活動について代表の瀬川さんたちは、「子どもたちへの学習支援は、同時に私たちの学びにもなっています。子どもたちに教えるというより、子供たちと心を通わせ寄り添うという気持ちです」と語った。

取材・文 区民記者 仲原照男

あさお多文化サポートネットひまわりは、麻生区内の小・中学校から区を通して依頼を受け、活動しているボランティアグループだ。日本語の苦手な、外国につながる子どもたちの学習を支援している。授業時間または放課後に、原則として個別指導を行っている。また、毎年、夏の勉強会や春のお楽しみ会を開催し、区内で支援している子どもたちが一堂に会し、ともに学習し楽しむ機会を設けている。

子どもとの転校などで学習支援を継続できなくなるときは淋しいが、一方、成長を目にしたときの喜びは、何物にも代え難いという。

会員資格は、日本語教育能力検定合格者、日本語教師養成講座420時間修了者、教員免許取得者、教職

あさお多文化サポートネットひまわり



過年度の「お楽しみ会」の様子

あさお多文化サポートネットひまわり

代表: 瀬川 晶子(せがわ・あきこ)
連絡先: 麻生区役所
学校・地域連携担当(☎044-965-5306)
設立: 2006年(活動開始2008年)
会員: 25名(2024年11月1日現在)
会費: なし
活動日: 学校との調整による(週1日45分程度)
その他、定例会を毎月1回開催
場所: 麻生市民館ほか(要確認)



オカリナを通じ音楽に親しみ、地域社会と交流する

オカリナは音が卵のような形をした笛である。そのほのぼのとした音色は何か人の心を引き付けるものがある。笛は吹息の airflow を振動させて発音する。オカリナは本体の内部容積が大きいほど低い音が共鳴し、小さいほど高い音が共鳴する。オカリナには12個くらいの穴が空いている。穴をふさいでいくと未開放の内部容積が大きくなり音が低くなるという原理だ。



マイクを使わず生音で斉唱する発表会

歌口に発音機構を持ったオカリナは音が簡単にでて、押さえる穴の数も比較的少なく取り付きやすい楽器である。しかしこれだけで済まないところが楽器の面白いところでもある。吹けば音が出るのだが大きな音を出そうと強く吹き込むと音程が上ずってしまふ。逆に弱く吹き込むと音程が下がる。吹

き込む息の微妙なコントロールが欠かせない。また音域も1オクターブ半と限られる。オカリナでは井あるいはりがついた音符でも、穴のふさぎ方あけ方の組み合わせによって鳴らせる。曲の途中で転調され#やbが3〜4個ついた曲も演奏できる。これは高齢者には都合が良い。なぜなら両手の指を使わずに脳トレになるからだ。

オカリナ愛好会麻生は老人福祉センターのオカリナの基礎講座(2006年)をきっかけに発足し18年続いている。取材時は発表会を控え、曲の仕上げに余念がない。指導者の橋本愛子先生は教本をはじめオカリナ曲集も出版されている。オカリナのスペシャリストである。オカリナの長所も短所も知り尽くしたうえで面白い編曲、しかも強弱をつけての演奏を要求する。会員一同これにこたえる。楽器としては何かと制限が多いと説明してきたが発表会では「東京ブギウギ」、「汽車ポップ」、「海、その愛」などなんでもござれの選曲と演奏に驚く。

代表の「Carpaccio」

鈴木氏、オカリナは「斉唱が素晴らしい」と力説する。音程を整えるのに苦労するこの楽器、

斉唱の響きは、発表会で共感す

ることができた。オカリナはもとともと陶器の楽器で焼くとき縮むので機械製品のような同じものは作れない。微妙な個性を持ったオカリナの素朴な音が集まってメロディーを奏でると、人の声の合唱のような豊かな響きになる。ここに18年の長きにわたり会が継続する秘密がある。大勢で奏でるところに楽しみがあるのだ。

ちょっと言うことをきいてくれない赤子のようなオカリナを、両手でそっと包みあやそうにやさしく息を吹き込むと鳴ってくれる。「どう今日はこの子機嫌がいいのよ」

優しい指導者と怪しい代表が引っ張るオカリナ愛好会麻生、発表会や慰問演奏会を通して地域と関わり合い、音楽の楽しみを伝えつづける。

取材・文 区民記者 景山茂



あいこうかいあさお
オカリナ愛好会麻生

代表：Carpaccio, 鈴木 (かるぱちちよ・すずき)
連絡先：ocarina2910@gmail.com
設立：2006年
会員：12名(男性2名・女性10名)
入会金：なし
会費：2000円/月
活動日：第1、3月曜日
場所：麻生老人福祉センター

ふれんずの輪を広げよう

区民記者が、あなたの活動取材します!



あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。原則、第2木曜日に『Web会議システム(ZOOM)』で編集会議を行っています。興味のある方や、参加を希望される方の傍聴を歓迎します。左の取材申し込みと同じメールアドレスへご連絡ください。過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。



取材申し込み方法

応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤など麻生区に関わる方が活動に参加している。

申込方法

- ①団体名
 - ②代表者名
 - ③連絡先(電話・FAX・メール)
 - ④活動内容(イベントの場合は開催日時・料金・内容)
- をFAXまたはメールでご連絡ください。

FAX 044-951-6467

MAIL info@asao-ku.net

お申込みいただいた内容については、編集会議で可否を検討したうえ、改めてご連絡させていただきます。

※選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、営利目的の団体・個人、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。